

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和6年度学校評価計画

学校名	みやき町立三根東小学校
1 前年度 評価結果の概要	<p>・令和5年度の学校評価結果については、主に以下のような成果(☆)や課題(★)があった。</p> <p>☆全体的に、どの項目についても、達成することができていた。各担当者の企画・立案について、全校が一丸となって取り組む事ができた成果と言える。</p> <p>★「児童の豊かな読書力の推進」の項目で、目標冊数を全体的には十分達成できていた。しかし、読書量の個人差が大きいので、今年度は、担任や図書委員会からの呼びかけを強化するとともに、国語科等の読解力指導とも関連させながら、学年に応じた読書の取り組みに力を入れたい。</p> <p>★「保護者、地域、関係機関との連携」の項目で、目標は上回っていたが、昨年度から学校運営協議会が始まったこともあり、更によりよい保護者、地域、関係機関との連携の在り方について考えていく。</p> <p>★不登校や心理的不調、特別支援など配慮の必要な児童が増えつつあることから、教職員の児童理解力の向上や問題に組織的に対応するための役割や動きの再確認と共通理解を図る必要がある。</p>
2 学校教育目標	自ら学び、心豊かに、たくましく生き抜く東っ子の育成
3 本年度の重点目標	<p>1 確実な学力向上と個別最適な学びと協働的な学びの推進（学びづくり部）</p> <p>2 心の安心を育む学校風土の確立と児童の自己肯定感の向上、豊かな体験活動の充実（人づくり部）</p>

4 重点取組内容・成果指標

(1)共通評価項目			
重点取組			
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組
●学力の向上	○全職員による共通理解と共通実践 ・児童の主体的な学びを促し、自分の考えをもち、表現できる力を高める指導のあり方を探る。	・1単位時間や単元の「学習のまとめ」や「振り返り」で自分の考えを伝えたり、書いたりできたと回答した児童の割合が70%以上 ・児童の表現力を高めるために、授業の工夫に努めたと思う教職員の割合が80%以上 ・授業が分かりやすいと回答した児童が80%以上	・「学習のまとめ」や「振り返り」で友達と話し合ったり書く活動を取り入れるなど授業改善を行う。 ・ICT機器（電子黒板やタブレット等）を活用する。
	○児童の豊かな読書力を推進する。	・進んで読書をしたと思う児童の割合が85%以上 ・読書の目標冊数を達成した児童90%以上	・読書推進のため、学級担任による児童への呼びかけを強化する。 ・図書館祭りのイベントを行い、図書館の魅力を発信する。 ・100冊読んだ児童やおすすめの本30冊を読んだ児童の紹介や掲示により、意欲を高める。
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	・学校生活アンケートで、豊かな心を育む項目において、肯定的な回答をした児童の割合が80%以上。保護者80%以上。	・「人権集会」や「命を考える日」の取り組みを通して、命の大切さを実感させる。 ・異学年交流体験、保護者や地域人材を活用した授業を実施する。 ・保護者や地域の方々への道徳授業公開「ふれあい道徳」を実施する。
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等において、学校いじめ防止基本方針に基づき組織的対応ができていると回答した教職員の割合が70%以上。	・いじめの認知・覚知に対するマニュアルの見直しを行う。 ・月1回生徒指導連絡協議会を行い、児童理解といじめの早期発見に努める。 ・なかよしアンケートを年間6回行う。
	◎児童が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	・「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童75%以上 児童が将来の夢や目標を持てるような指導の工夫をしたと答えた教職員が70%以上	・年間の学校行事や学級活動の中で「出番・役割・承認」運動を全職員で推進する。 ・学期ごとに学習面・生活面の個人めあてをもちあわせて取り組ませる。 ・道徳等で「夢」や「なりたい自分」に関する取組を実施し、それに向けて努力しようとする気持ちを向上させる。
	○児童の自己肯定感の向上	・学校生活アンケートで自分にはよいところがあるとと思う子どもの割合が75%以上 ・「先生は自分のよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童80%以上 ・「心のタイム」等で、「光るところ見つけ」カードを年間6枚以上書く。	・年6回の「なかよしアンケート」に自己肯定感に関わる項目を入れて実施する。 ・各学級で言葉や「光るところ見つけカード」などでみんなの前で紹介し、称賛するように取り組む。 ・年7回の「こころタイム」による光るところ見つけ活動や教職員(生活面)保護者(学校行事)による承認活動に取り組む。
●健康・体づくり	次の中から1つ以上を選択 ●「望ましい生活習慣の形成」	・早寝、早起き、朝ご飯の取組ができていると回答した児童の割合が80%以上。 ・SNSなどの情報モラルやゲームをする時間などを守れていると回答した児童の割合が80%以上。保護者80%以上。 ・むし歯保有率が佐賀県平均の23.77%以下にする。	・早寝、早起き、朝ごはんの啓発を年2回実施する。 ・7月に食生活アンケートを実施し、実態を把握する。 ・11月に朝ごはんの実践シートを実施し、家庭へ啓発を行う。 ・SNSの使い方など、情報モラルについての指導の学期毎に1回以上行う。 ・むし歯保有者の治療勧告書を個人面談時に個別に配布し、保護者の受診への意識付けを行う。 ・歯科衛生士によるブラッシング指導(歯びり教室)や歯の講話を実施する ・むし歯保有者に対しブラッシング指導を実施する。
	○「運動習慣の改善」	・目標を決めて、「スポーツチャレンジ」に1回以上取り組む。 ・遊べる日に、外で元気に遊んだとアンケートに答えた児童が75%以上。	・縦割り班で八の字跳びにチャレンジする期間を決めて取り組ませる。 ・学級で目標を決めて、「スポーツチャレンジ」に1回以上参加する。 ・月1回以上、学年で外遊びを決め、実施する。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	・教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限(1月45時間)を守れた教職員を90%以上にする。 ・計画的効率的に職務遂行できたと回答した教職員の割合を75%以上にする。	・校務の内容の工夫・精選、会議のペーパーレス化など効率的に職務を遂行し、全職員で協働的に教育活動を行い、時間外勤務時間の削減に取り組む。
	○教職員の心身の健康を支える職場環境づくり	・気持ちよく業務遂行できたと回答した教職員80%以上。	・相談しやすい職員室の雰囲気づくり ・職員が休みを取りやすい体制の工夫
●特別支援教育の充実	○特別支援教育の理解と実践力の向上	・特別支援教育に関する校内研修を年2回以上行う。 ・特別な配慮の必要な児童に組織的に対応できたと回答した教職員が70%以上	・配慮の必要な児童理解の向上を図るために、年度初めと夏休みに研修会を実施する。 ・日頃の児童の小さな変化を、月1回職員全体で共有する場を設ける。 ・場合に応じてケース会議を開き、外部機関とも連絡を取り合って改善策を見つけていく。
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目			
重点取組			
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組
○地域とともにある学校づくり	○保護者、地域、関係機関との連携の推進(幼保小連携含む)	・教育活動の充実のため、保護者、地域、関係機関と効果的に連携できたと回答した教職員80%以上。 ・学校は教育活動の様子を分かりやすく伝えていると回答した保護者80%以上。	・学校だよりや各学年からののお便りなどで、教育活動の様子を随時伝える。 ・地域人材リストや地域連携カリキュラムを効果的に活用できるように、随時更新する。 ・学校ホームページを定期的に更新することで、最新の学校情報を発信する。
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育			

5 総合評価・次年度への展望	<p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>
----------------	----------------------------